

## 令和6年度のブリ漁況の見通し

＜今漁期(10月～翌年3月)の富山県におけるブリ漁獲量＞

3歳以上のブリ(体重7kg以上)は、平年(146トン)を下回ると予想される。

2歳のブリ(体重4kg前後)は、平年(43トン)を下回ると予想される。

### 「根拠となった情報」

#### ① ブリの資源レベル

- ・日本海において、今シーズン「ブリ銘柄」として漁獲対象となる魚のうち、2022年産まれの2歳魚(4kg前後)、2021年産まれの3歳魚(7kg前後)および2020年産まれの4歳魚(9kg前後)は、各年生まれ群における過去10年間の漁獲尾数と比較して、いずれも低い水準となっている。
- ・3歳以上のブリについて、北上期のブリ漁獲量(新潟県、秋田県における北上期(4～8月)の定置網によるブリ漁獲量)を基に計算すると、日本海における主要な漁獲県である新潟、富山、石川の3県における今漁期の定置網の合計漁獲量は1,105トン(過去10年平均比123%)と予想された。
- ・2歳のブリについて、0歳時点(2022年7月～翌年6月)での、富山湾から青森県における定置網による漁獲尾数は過去10年平均比72%であり、平年を下回った。

#### ② 漁獲量と周辺海域の水温との分析結果

##### ・3歳以上のブリ

3歳以上のブリ漁獲量は、日本海の12月上旬の水深100m水温において、山形沖の水温が高く、能登半島沖の水温が低くなり、その水温差が大きくなるほど、富山湾の漁獲配分割合※が高く、多く漁獲される傾向にある。日本周辺の水温等の海況を予測するシステム(FRA-ROMSⅡ)によると、2024年12月上旬の同海域の水温差は $-2.85^{\circ}\text{C}$ (平年値 $3.34^{\circ}\text{C}$ )と予測されている。このことから、富山湾の漁獲配分割合は35%(平年値60%)と計算され、水温環境からみて富山湾へは平年より来遊しにくいと考えられた。また、富山湾内における富山県への配分割合は過去10年平均で26%であった。

※(富山+石川)/(富山+石川+新潟)で計算される定置網漁業の漁獲量の配分割合

##### ・2歳のブリ

2歳のブリについては、漁獲量が大きく変動し、資源量の変動だけでは説明できない要因が考えられること、また水温環境の影響も明らかになっていないことなどから、漁獲量を予想する精度は3歳以上に比べると劣る。

以上の根拠から、富山県における3歳以上のブリ漁獲量は、 $1,105\text{トン} \times 35\% \times 26\% = 101\text{トン}$ (過去10年平均比69%)と算出され、平年を下回ると予想される。

2歳のブリ漁獲量は、過去10年平均が43トンであり、0歳時点での漁獲尾数が平年を下回った(過去10年平均比72%)ことから、 $43\text{トン} \times 72\% = 31\text{トン}$ と算出され、平年を下回ると予想される。

※かなり上(下)回る： $\pm 51\%$ 以上      上(下)回る： $\pm 50\% \sim \pm 21\%$   
やや上(下)回る： $\pm 20\% \sim \pm 6\%$       平年並み： $\pm 5\%$ 以内

表 富山県における2歳、3歳以上のブリ漁獲量(10月～翌年3月)

漁期年	富山県における漁獲量(トン)	
	2歳	3歳以上
2014	91	128
2015	9	17
2016	81	70
2017	58	50
2018	32	182
2019	16	155
2020	7	205
2021	60	81
2022	61	276
2023	11	299
2024 (予想値)	31	101

2024/12/01

FRA-ROMS II

Temperature[°C] (100m)

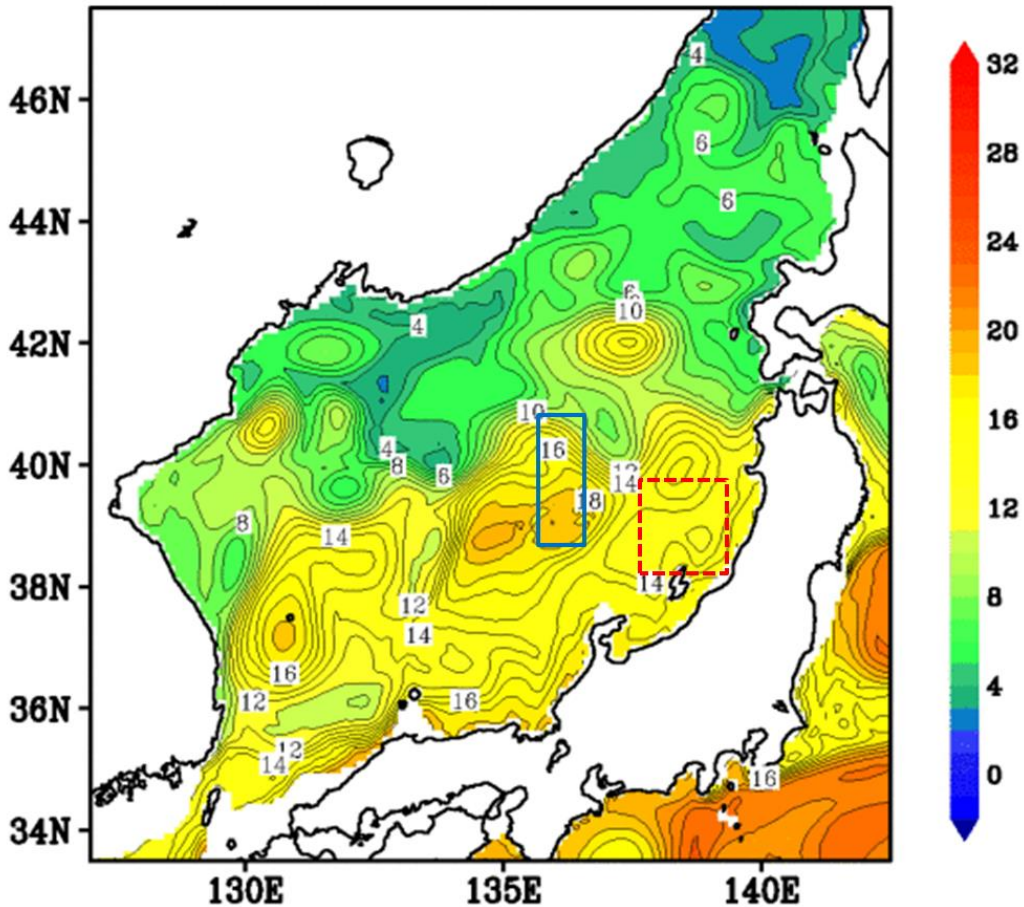


図 改良版我が国周辺の海況予測システム FRA-ROMS II の予測結果  
 2024年11月7日時点における12月1日100m深予想図  
 能登半島沖(青囲み海域)が冷たければ、富山湾来遊に好適な環境  
 山形沖(破線赤囲み海域)が暖かければ、富山湾来遊に好適な環境